

課外活動への他大生の参加制限について

【ご意見・ご要望】(投稿日:2022年6月13日)

他大生の課外活動禁止理由について、複数の投稿及び回答を拝見したうえで、こちらに意見の方を述べさせていただきます。是非公開で回答をいただきたいと考えています。

不躰な物言いで申し訳ありませんが、皆様には現在の状況下で他大生の活動参加を制限していることの重大さを認識していただき、正式に制限解除を認めていただきたいです。

私は現在4年生で、所属している団体には複数の他大生も所属しています。そして私たち4年生は通常時の課外活動を経験した最後の学年になります。

どうかかつてのように他大生の活動参加を実現できないか苦心して参りましたが、納得できる理由も提示されないまま、現在に至ります。

弊団体に所属している他大生の不満は、精神的なダメージに変わってきています。その具体的な苦悩については省略しますが、それらはいずれも活動に参加してもらうことで解決するものです。規模の大きな京都大の団体でしかできないことに魅力を感じ、いつか共に活動できることを信じて、ここまで辞めないでいてくれる他大生に、私はどう顔向けしたらいいのでしょうか。

現在構内や食堂には一般の方もおり、世間の社会活動も回復している中で、それでも他大生の参加は認めないという措置は、恐らく皆様の見立て以上に、各団体の構成員に精神的な負担を与えていることをどうか認識して、動いていただきたいです。

確かにガイドラインが制定された当時の感染状況を踏まえると、京大生のみで課外活動を行うというのは妥当な措置であったと思います。共に活動できないことは辛いものではありませんが、多かれ少なかれ納得感がありました。しかし、現状でも他大生の参加を制限し続けていること、そして私たちの要望に対する皆様の回答が到底納得できるものではないことは、多くの方が苦悩する原因になっています。団体に所属していながらその活動に参加できないということは、皆様の認識以上に精神的な負担です。彼ら彼女らの苦しみを解放する根本的な方法は、課題活動への参加を許可していただくほかありません。

制限緩和についての論理的な観点からの提言は他の投稿者様の内容と変わりませんので、省略させていただきます。ただ皆様には、課外活動の制限を続けることが如何に私たちを苦しみ、希望を奪い取っているものなのか知っていただけたらと思います。

他大生の参加が叶った暁には、京大生と同様にしっかりとした感染防止対策を行う所存で

す。どうか、私たちの苦しみを減らすためにも制限の緩和をしていただけないでしょうか。

【回答】(回答日:2022年7月1日)

(回答部署:教育推進・学生支援部厚生課)

令和4年6月23日付で「課外活動等の実施における感染拡大予防マニュアル」を改訂し、課外活動について可能な範囲で自粛要請の緩和を進めることとしましたが、全学公認団体の課外活動への他大学の学生の参加については、引き続き自粛を要請することになりました。

この点についても、新型コロナウイルスの感染拡大状況等を踏まえ、継続して検討を続けてまいりますので、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。